

# 川島グループ 経常益28億円

## 4-9月見込み 金属関連が堅調

非鉄総合商社、川嶋（本社―浜松市、川嶋一義代表）を中心とする川島グループはこのほど、2024年4-9月期の連結業績（速報ベース）が増収増益となる見込みであることを明らかにした。売上高で450億―500億円、経常利益で約28億円を予測する。主力のアルミリサイクルなど金属関連事業が堅調推移したことが業績を後押しした。

### 売上高10-20%増加

同グループの連結決算は、グループ各社の決算時期に差異があるため売上高、経常利益共に概算での計上になる。上期は金属市況の

高騰や為替相場の円安推移などを受け、金属関連事業が堅調に推移し、前年同期比で売上高が10-20%増となる見込み。非金属事業も安定した収益を確保しており、上期は収益ともに向上の結果となった。

円、経常利益52億円の達成に向けて大きく前進。下期は金属市況や為替相場の動向で不透明感も生じているが、前期並み水準以上の業績を見込む。

今下期については、グループの組織化やカー

パナンス強化を推進する。グループ全体での事業戦略なども見詰め直し、新体制における中長期的な戦略構築に注力する。これによりグループとしての強みを最大化し、サステナブル経営の実現を目指す。

同グループはアルミ精錬や貴金属スクラップのリサイクル・リユースなど非鉄金属関連分野で、幅広く事業を展開する総合非鉄リサイクル企業グループ。近年では不動産、レジャー、介護など金属以外にも幅広い分野で事業を展開している。